

令和3年度ホタテガイ採苗情報（第5報）

令和3年5月13日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



唐丹湾で付着継続。宮古湾、広田湾で付着数増加。

<調査結果の概要>

- 唐丹湾の水深10m層の水温は10.0℃で昨年度同時期と同程度となりました。透明度は9mでした。
- 唐丹湾において、ホタテガイ付着稚貝が457個/袋（採苗器5日間垂下）確認され、1週間あたりの付着数に換算すると増加しました（513個→640個/袋/週）。宮古湾白浜及び広田湾泊においても、付着数が増加しました。
- 唐丹湾のホタテガイラーバは、殻長200μm未満の小型個体が65個/m³、200μm以上の大型個体が35個/m³確認され、200μm以上の大型個体の割合が上昇しました（10.3%→35.0%）。

<宮城県の状況（5月7日発行ホタテガイ採苗速報（第3報））>

- ホタテガイラーバについて、小型～大型が確認。大型はわずか。
- 唐桑、岩井崎、十三浜でホタテガイ付着稚貝が確認された。

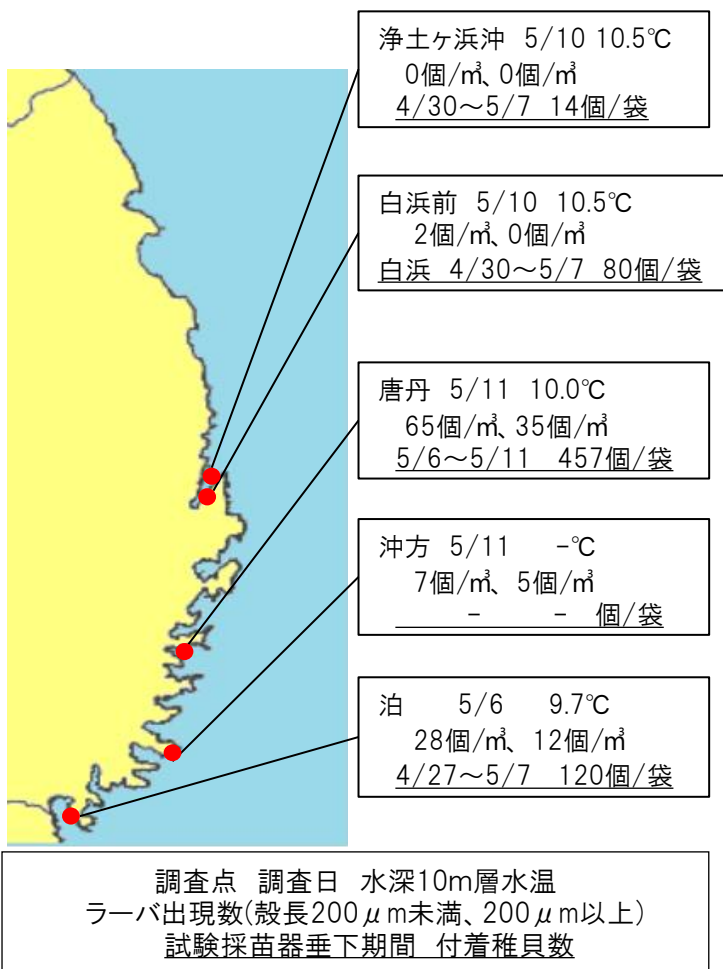


図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月18日頃に
発行する予定です。

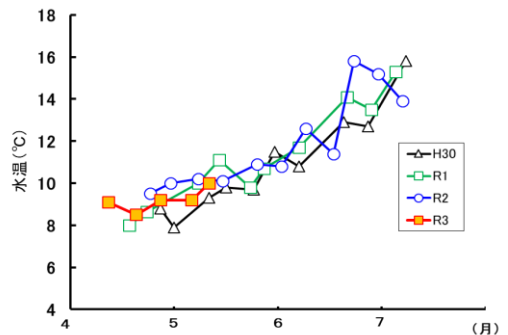


図2 唐丹湾における水深10m水温

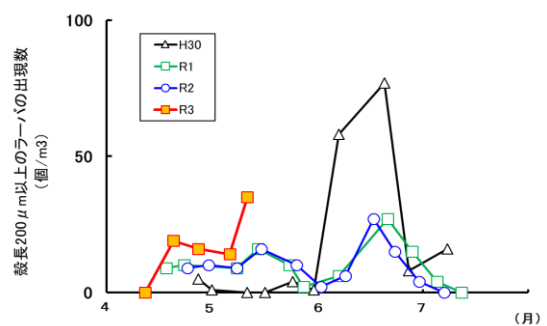


図3 唐丹湾における殻長200μm以上ラーバ出現数

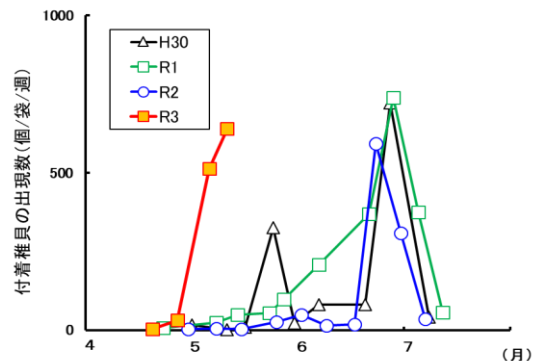


図4 唐丹湾における1週間あたりの付着数